



最高速番長は
ダレだ?
 Exciting Car Magazine
 オプション

OPT FUJI SPEED MAX

開催!

Option

1000分の1秒を争う
 ハイスピードバトル

2011 **4 APRIL** 定価 **580 yen**
<http://www.jdm-option.com/>

OPTION 2011年4月号 (毎月26日発売) 2月26日発売
 第31巻4号 通巻411号 1981年8月3日 第3種郵便物認可

スポーツ系最新作イッキ出し!!
The Newest Wheel!



インポートカー
5番勝負
 in JAIA試乗会

TUNING TECHNOLOGY

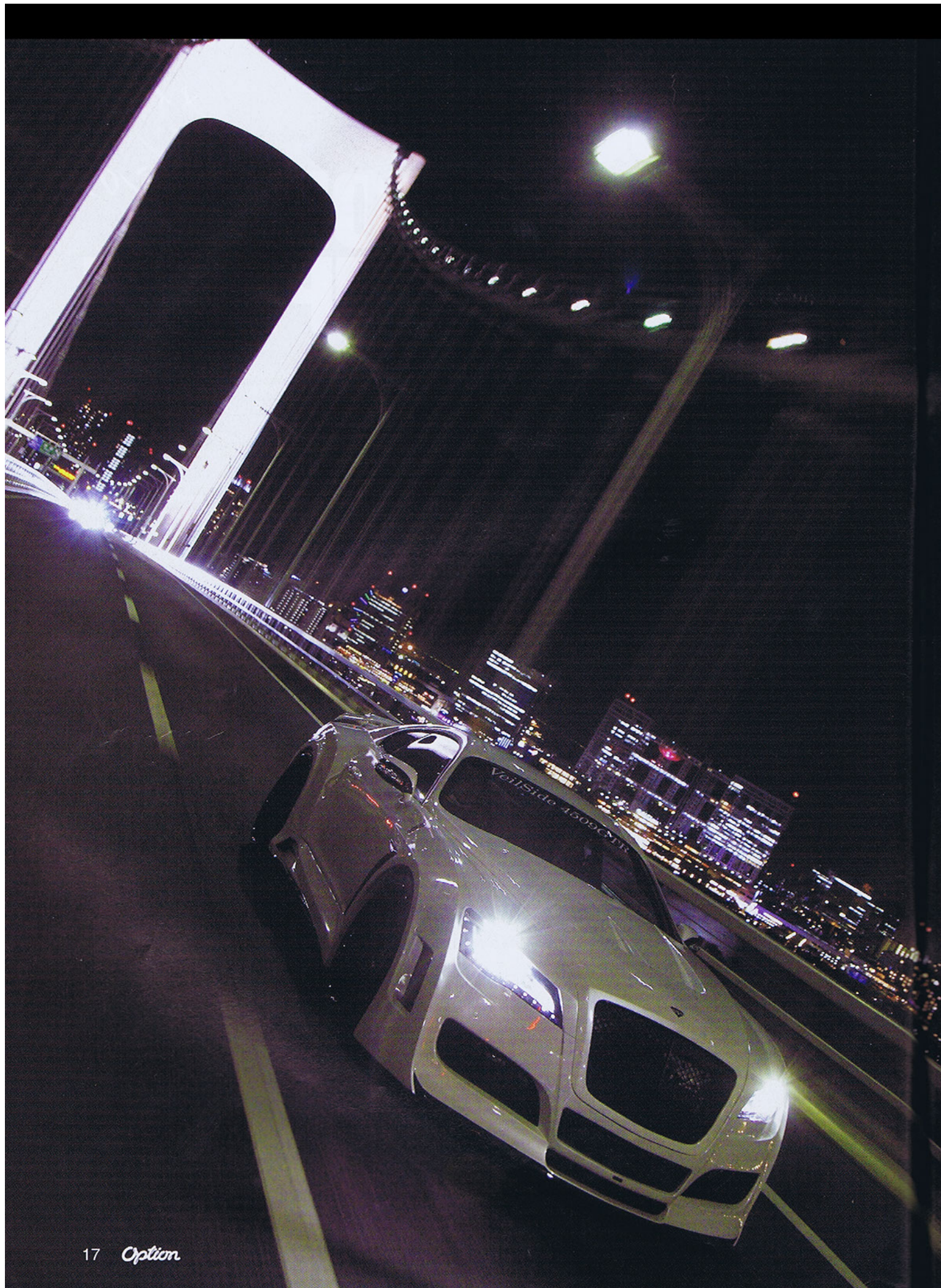
注目マシンの走り&
 メカニズムに迫る!
2011

未来を担う、 眩い巨星群。

最新鋭チューンド
完全集結

TUNING
TECHNOLOGY
2011

東京オートサロンを皮切りに、いよいよ幕が開けた2011年のチューニングシーン。
例年以上の躍進と進化にいまから期待は膨らむばかりだが、
今特集ではその「鍵」を握るであろう12台のチューンドにズームイン。
まずは東京国際カスタムカーコンテストにて、
見事グランプリに輝いたヴェイルサイドの超大作からお届けだ。



SUPER CUSTOM COMPLETE

メイド
イン
日本の
底力

光溢れる夜の街に佇むだけで、これほど絵になるチューニングカーも稀有な存在だ。計算し尽くされた陰影と反射光。そこから描き出される美しいシルエットの、まるで名画のような奥ゆかしさに、思わず息をのむ。

そう、東京オートサロン2011を席巻した奇才・横幕宏尚率いるヴェイルサイドの新作「4509GTR」が、ついに公道へと降り立ったのである。

ヴェイルサイドの真骨頂は、トレンドを取り入れながら芯の一本とおった高い表現力と、それを市販品に落とし込む独自のFRP成型技術が織りなす、高感度のエアロテクノロジーにある。もともと国産系としてはしまったこのブランドは、瞬く間に輸入車へ進出し、昨今はフェラーリやランボルギーニなどのワールドプレミアム勢にも力を注いでいる。

そしてそれらの挑戦が、横幕氏のセンスやデザインテクニックを磨き上げる修練の場となり、今作の創出につながったワケだ。

シングルフレームグリルを中心に、重厚感あふれる複雑な面構成で構築された独創のフロントセクション。フラット感を完全排除し、流麗な曲線が複雑に絡みあうデザインを採用したサイドアプローチ。そして、シンプルではあるものの、よく見ると繊細で立体的に再構築されたリアフォルム…。

秘めたるアビアランスは、もはや完全にスーパースポーツクラス。アンヴェール直後にも関わらず、国内外からの問い合わせが殺到しているという話もうなずける。ヴェイルサイドの有するブランドイメージを随所に残しながら、大胆果敢にチャレンジした超大作は、どんなクルマを前にしても一際輝いて見えるに違いないのだから…。

Veil Side 4509GTR



PHOTO: 小林克好 18

未来を担う、
眩い巨星群。

TUNING
TECHNOLOGY
2011

高級車をコンセプト
完全再現



夜王の肖像

The magnificent appearance

19 *Option*

ヴェイルサイド 茨城県つくば市真瀬1250-3 ☎029-838-1104
<http://www.veilsidejpn.com/>



メイド・イン・ジャパンの底力

**SUPER
CUSTOM
COMPLETE**

20

Veil Side

4509GTR

interview

横幕宏尚

Hironao Yokomaku

1962年生まれ。1985年にチューナー業を開始し、その5年後にヴェイルサイドを創設。速さと美しさを両立したスタイルを提唱しながら、独自の路線で業界の最前線を走りつづける重鎮だ。

かれこれ丸4年になるかな。裏方に徹していたんだ。そのあいだは、拠点を海外へと移して、フェラーリやベントレーなど、文字どおり世界基準と呼ばれるような名馬たちのエアロフォルム開発に明け暮れていたよ。

挑戦の日々だったね。だって、素材自体のレベルが高すぎるからヘタなデザインワークは通用しないし、特有の世界観を壊すわけにもいかない。だから、神経をつねに尖らせながら全身全霊をかけて挑んでいた。

4509GTRにはね、そうした闘いのなかで芽生えた新しい感性が凝縮されているんだ。素材にJZA80を選んだ理由は、30年間というボクの長いチューニング道を支えてくれた相棒だから…かな。

求めたのはチューニングカーの極みであり、

「どんなに時代が動いても、
ボクのスタイルは変わらない」。

知性的な美の創出。複雑な面構成としながら、すべての造形に意味を持たせること。たとえばサイドシルエット。ボンネットをフェンダーより高い位置に設定して、そこから繋がるAピラーも傾斜角を減らす方向で再構築してるんだ。これは錯覚を利用した技法。ピラーの傾斜角をちいさくすれば、チョップドーフを演出することができるからね。

リヤフェンダーもしかり。サイドステップから流れるプリスターラインだけでは間延びした印象になってしまうので、フェンダーアーチ部周辺をわずかに隆起させて、意図的に陰影をつけているんだよ。

そうした“小技”を駆使しながら、ディテールの完成度を高めていったワケ。今作はボク自身の集大成でもあるから、チューニングファンのみならず、往年のヴェイルサイドファンのかたがたにも、きっと喜んでもらえるかと信じている。

チューニングカーってさ、なんていうか、一種の年齢制限みたいなものがあるじゃない。40歳を過ぎたら卒業する…みたいな。でもさ、この世界に終わりなんてないんだよ。60歳になっても80歳になっても、走り屋魂は消えやしない。チューニングを楽しむ権利は死ぬまであるハズ。4509GTRには、そうしたメッセージも込めたつもり。なんせ、ボク自身がもうすぐ50

歳なんだから(笑)。

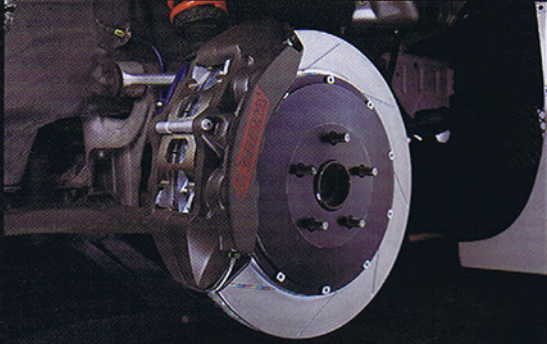
最後に。時代の流れとともに、アフターエアロ業界も大きく変わった。いまでは自分の手を一切よごすことなく、車体をデジタル計測してパソコン上のバーチャルワールドで、エアロを構築していく方法が主流になりつつある。

たしかに、そのほうが短期間で高精度の製品を生み出すことができるけれど、そこにつくり手の感情を込めることなどできないと思う。ボクは、己の手だけを信じて、魂を込めながらアナログ的手法で石膏や発泡ウレタンを削りつけている。これまでも、そしてこれからも…、ね。

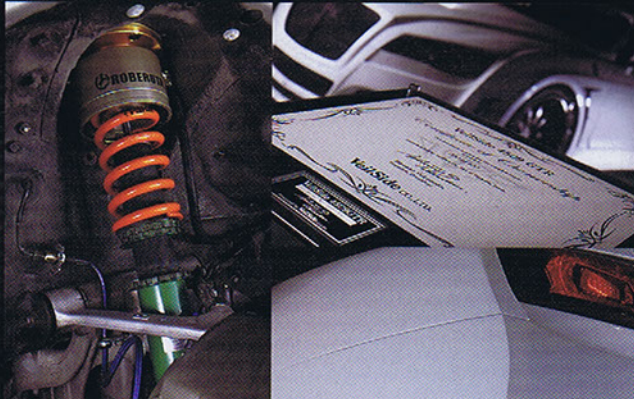
Veil Side

4509GTR

The formative technology



[1]



[2]

[3]



[4]

メイド・イン・ジャパンの底力

**SUPER
CUSTOM
COMPLETE**

600万円の価値と意味



[5]

4509GTRのプライスは、ベース車両持ち込みのエアロコンプリートで約500万円。ベース車両込みのカスタムコンプリートで600万円〜と設定されているが、個々のマテリアル単価や工賃を考えると、これはバーゲンプライス以外のなものでもない。

というのも、後者を選択したばあい、専用サイズのプレミアムホイールやエキゾーストマフラーがインストールされた上、ボディカラーも自由（スペシャルカラーは追加料金）にオーダー可能なのである。また、カスタムベースに関しても、経年劣化がはげしく各機関にダメージを負った個体は使用せず、独自のヴェイルサイド基準をクリアした、程度“良”の中古車のみというこだわりようなのだ。

そしてさらに、車幅が前後で160mm拡大されることによる構造変更等、書類上の公認手続きも行った上での納車となるため、まさに手にした瞬間から至福の喜びを味わうことができる。

細かい話をすると、パワーステアリングやサスペンションの仕様、はたまたインテリアの仕上げ方などによって最終的な価格は変動する。つまり、600万円と設定されている車両価格は、上記メニューを含んだ4509GTR「ベースモデル」の価格なのである。そこから“〜”となり、ヴェイルサイドが用意した豊富なサイドメニューを顧客が取捨選択していくことで、世界にひとつだけの4509GTRを生み出すことができる、というワケだ。

1▶ 米ロータ社社の最新ブレーキシステム（F6ピストン+380φローター&R4ピストン+355φローター）をインストール。これはオプション設定の逸品となる。

2▶ デモカーのサスペンションは、試作ダンパーとロベクタカップのセットとなる。これらはコンプリートキットにはぶくまれないオプション設定品となるが「中古の個体で車高調がついてないケースはほとんどないからね」と横幕氏。

3▶ 4509GTRには、ヴェイルサイドコンプリートであることを証明する認定証が用意されている。現在マウントボードを製作中で、いずれはリヤゲート内に美しく認定証をかざれるようにすること。

4▶ パンパー一体造形のカーボンファイバーから顔を出す、4本出しテールエンド（右側はダミー）。4509GTR専用モデルとなり、コンプリートキットに標準装備される。

5▶ 各部をアルカンターラで張り替え、絨織豪華に仕上げられたインテリア。顧客の個性を尊重し、このパートもオプション設定だ。



デモカーの心臓部に鎮座する2JZユニットは、T88H・38GKシングルターボシステムをポンづけしたVプロ制御の760ps仕様となる。このスペックはあくまで一例であり、購入者はヴェルサイドが用意した複数のパワーパッケージのなかから、好みに応じてオーダーすることができる。

SPECIFICATION

ベース車両型式	JZA80
■寸法	
全長×全幅×全高(mm)	4530×1970×1250
■エンジン	
エンジン型式	2JZ-GTE
■主要装備	
エクステリア	Veil Side 4509GTR
インテリア	Veil Side 4509GTR専用(各部アルカンテラ張り替え/Optionメニュー 約50万円)
ホイール	Veil Side Premier4509Limited (F20×10 R22×11.5J)
タイヤサイズ	F255/30-20 R295/25-22
サスペンション	Veil Side 4509GTR専用 (Optionメニュー 要問い合わせ)
ブレーキ	ロートラ・スーパーチャレンジャーブレーキシステム (Optionメニュー 要問い合わせ)
■価格	
コンプリートエアロシステム	500~520万円(塗装&取り付け費込/専用ホイール&マフラー込)
フルカスタムコンプリート	600万円~(車両込/塗装&取り付け費込/専用ホイール&マフラー込/公認取得済) ※ベース車両、エンジンスペック等の仕様によって価格は変動する。